

日本語の「一 + 助数詞」の意味 - 中国語・英語との対照を通して -

林佩芬

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

peifen100@hotmail.com

0. はじめに

本発表では、日本語の「一 + 助数詞」(一つ、一人...)を含む文について、英語・中国語との対照を通して考察する。

次のように、英語や中国語で“a”や“一个”が使われる場合に、日本語では「一人」を使わない。

- (1) a. He is a student. b. 他是一个学生。
c. 彼は(?? 一人の)学生です。

これは、英語や中国語の場合、不定冠詞の“a”や数量詞(数詞+量詞)の“一个”を加えることにより、総称性を持つ名詞が個性のある表現となる。一方、日本語では(1c)のように、具体的に存在するものを指す時でも、その個性「一人」を明示する必要はなく、解釈をコンテキストに委ねるといわれている。しかし、以下の例文を見てみよう。

- (2) 人間一人一人が、一つの地球に住む運命共同体の一員である。
- (3) 遥遥訪ねたのに、あの鬼嫁は私にはお茶一杯出してくれなかった。
- (4) 諸君は一人の学生として日々単純な生き方を心がけるべき。
When she heard the news, she burst into tears without saying a word.
- (5) 彼女はそのニュースを耳にしたとき、一言も言わず泣き出した。
A friend of mine came to India last week.
- (6) 先週、私の友達の一人がインドに行った。
- (7) 我们住在同一个屋檐下。 : a. 私たちは同じ屋根の下に住んでいる。
b. 私たちは一つ屋根の下に住んでいる。
- (8) 我和他同一个班。 : a. 私と彼は同じクラスにいる。
b. * 私と彼は一つクラスにいる。

1. 日中数量詞構文の対比

- (9) 听我的 一个印度朋友讲，在印度的大多数地区，父母们都想生 一个男孩子，女儿则常会被看做是“家庭的负担”。...印度人一旦家里生了 一个女儿，就要为 女儿筹集一大笔钱作为陪嫁。而相反，新添了 一个儿子，那就是多了一个发财机会，这种重男轻女的习俗影响了印度人的生育观。有的父母第一胎生了 一个女儿，心中不快，决定再生一个，如果生下的又是 女儿，那就努力生第三胎、第四胎，直到生了 儿子才会罢休。

(<http://www.media.tsinghua.edu.cn/article/article.php/857>)

- (10) あるインド人の友達から聞いたところによると、インドのほとんどの地域では、親たちは皆 男の子を生みたがってあり、女の子は常に家庭の負担になると見なされているようだ。...インド人の家に一旦 女の子が生まれると、その女の子のために、沢山のお金を持参金として準備しなければならないのだ。一方、もし 男の子が増えたら、お金が儲かるチャンスが増えると思われる。このような男に重視して、女を軽視する風習が、インド人の子供を産む観念に影響を与えた。ある親は、第一子に 女の子が産まれると、不機嫌になり、もう一人生むことを決意する。そして、また 女の子が産まれると、三人目、四人目を生む努力をする。男の子が産まれるまで生みつづけ、男の子が産まれると気が済むのだ。

(筆者訳)

日本語に比べて、中国語の方は「一+量詞」が多い。また、同じ「一+助数詞」の中国語表現に対応する日本語の表現も、様々な形であることが分かる。

2. 「一+助数詞」の意味

「一+助数詞」の意味を以下の観点から考察する。

「ある」と「一+助数詞」との違い、 「一+助数詞」を加えると加えないとの違い、不定表現に関する解釈、 拡張意味、 否定表現。

2.1 「ある」と「一+助数詞」(“ a certain ” , “ some ” との対照)

「ある」：どれとは具体的に示さず、そういうものの存在だけをにおわせて物事に言及する。

次の例文(11)、(12)において、石井(2003)は“ a certain ”は「話者は分かっているが、何らかの理由で、敢えて名前を言うのを避けている場合」に用いられるのに対し、“ some ”は「話者も分からない誰か」を指すと述べている。

- (11) I saw John meet a certain person; who do you think it was?
 ジョンが誰かと会っているのを見ました。誰だったと思いますか？
- (12) I saw John meet some person; I wonder who it was.
 ジョンが誰かと会っているのを見ました。誰なんだろう。

(石井2003：39)

例文(11)、(12)の英語を「一 + 助数詞」、「ある」を使って訳すと以下ようになる。

「一 + 助数詞」とも「ある」とも訳せる場合

- (11)' a. ジョンが一人の(男)と会っているのを見ました。誰だったと思いますか？
 b. ジョンがある人と会っているのを見ました。誰だったと思いますか

「一 + 助数詞」とは訳せるが、「ある」とは訳せない場合

- (12)' a. ジョンが一人の(男)と会っているのを見ました。誰なんだろう。
 b. * ジョンがある人と会っているのを見た。誰なんだろう。

「話し手が分かっている人物」を指す場合：「一人」、「ある」

「話し手も分からない誰か」を指す場合：「一人」、*「ある」

また石井(2003：36)は例文(13)、(14)は「ある」で訳せないとしている。

- (13) Do you have a pen with you.: a. ペンをお持ちですか？
 b. *あるペンをお持ちですか？
- (14) I bought a useful pen yesterday.: a. 昨日役に立つペンを買った。
 b. *昨日役に立つあるペンを買った。

例文(13)と(14)の英語を「一 + 助数詞」使って訳すと以下ようになる。

「一 + 助数詞」とも「ある」とも訳せない場合

- (13) c. * 一本のペンをお持ちですか。
 (14) c. * 昨日役に立つ一本のペンを買った。

2.2 “a”を含む文の多義性

石井(2003)は例文(15)の解釈は以下の三通りであると述べている。

- (15) I'd like to marry an Italian.
 a. 私はイタリア人なら誰でもいいから結婚したい。
 b. 私は一人のイタリア人と結婚したいのであって複数と結婚したいのではない。
 c. 私には結婚したい特定のイタリア人がいる。(石井2003：22)

例文(15)は「一人」と訳せると訳せない場合がある。

例文 (15a) は「一人」とも「ある」とも訳さない

例文 (15b) は「一人」と訳し、複数ではなく「一人」であることを際立たせる。

私には結婚した「一人」のイタリア人がいる。

例文 (15c) は話し手にとって、そのイタリア人が他の人と区別できる、唯一の人物であるため「定」(identifiable)の存在であるが、その人物について聞き手に明示する必要がないなど何らかの理由で、敢えて名前や情報などを言うのを避けて「不定」(nonidentifiable)の形を用いて表現している。

2.3 「同じ」と「一 + 助数詞」

(16) 一つ屋根の下で暮らす、 同じ屋根の下で暮らす

(17) a. 弟は同じ学校の女の子と付き合っているらしい。

b. *弟は一つの学校の女の子と付き合っているらしい。

日本語の「一つ」は「同じ」と置き換えられる場合もあるが、必ずしも「同じ」は「一つ」で置き換えられるわけではない。

2.4 否定表現 (否定対極表現)

(18) a. 昆虫採集に行ったが、トンボ一匹採れなかった。

b. 昆虫採集に行ったが、一匹のトンボも採れなかった。

(水野1993: 39)

水野(1993)は、例文(18a)はトンボ以外の昆虫全般が採れなかったことを含意するが、用例(18b)にはこの含意を認められないと述べている。

《引用文献》

石井 隆之(2003)『冠詞マスター教本』ベレ出版

水野マリ子(1993)「否定対極のメカニズム「魚一匹いない」と「一匹の魚もない」」

『留学生センター紀要』1号 神戸大学留学生センター pp.39-45